

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に連関性がありますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 教養部の「人材の養成・教育研究上の目的」を設定している。その内容は、多岐にわたる教養部教育にとって適切なものであり、特に「多様化」している大学教育にとって資するところが極めて大きいものとなっている。</p> <p>(2) 本学の理念、すなわち「仏教精神を基とした「行学一体」による人格形成、ならびに、「報恩感謝」の生活のできる社会人を育成し、広く社会に寄与し、人類の福祉と文化の発展に貢献すること」を実現するためには多岐にわたる教育を基盤とすることが必要である。教養部教育は様々な分野にわたる教育を目指しており、教養部の「人材の養成・教育研究上の目的」は、この本学の理念実現に大いに連関している。</p>				
<p>【根拠資料番号及び資料名】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
1-1教養	愛知学院大学ホームページ「人材の養成・教育研究上の目的」			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 教養部の人材の育成・教育研究上の目的を「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。</p> <p>(2) 教養部の「人材養成・教育研究上の目的」は、大学ホームページに掲載し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表されている。</p>				
<p>【根拠資料番号及び資料名】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
1-1教養	愛知学院大学ホームページ「人材の養成・教育研究上の目的」			
1-2教養	各学部の履修要項(刊行物)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
①	教養セミナーの授業内容の独自性、全国でも珍しい教養教育に特化した「教養部」の存在

【根拠資料番号及び資料名】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名
教養1-1	愛知学院大学教養部ホームページ http://kyouyou.agu.ac.jp/
教養1-5	『教養セミナーハンドブック 大学で学ぶために』(PDF)
教養1-6	『教養セミナーハンドブック 日本語表現法』(PDF)
教養1-7	『宗教と人間 真の生き方を求めて(第二版)』(「宗教学Ⅰ・Ⅱ」の教科書)(刊行物)

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

【根拠資料番号及び資料名】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価 A
--	------------------

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)・毎年度シラバス作成にあたり、教養部開講の全授業について、相互チェックを実施している。原則として、非常勤講師については当該教室の専任教員が、専任教員については同教室内もしくは同系列内の他の専任教員が、「教養教育科目カリキュラム・マップ」(根拠資料2-1教養)と照合しつつチェックを行い、必要に応じて修正を促す。各チェック担当者はその経緯をすべて確認シートに記録した上で教務主任室に提出し(根拠資料2-2教養)、教務主任室がチェックに漏れがないか最終確認を行う。</p> <p>・各学期末に全学で行われる授業アンケートについて、教養部では、「専任教員は、春学期・秋学期ともに1科目以上実施する」という統一方針を定めている(根拠資料2-3教養)。また昨年度より、教養部独自の取り組みとして、授業アンケート終了後に教養部拡大FD委員会を実施し、授業アンケートをさらに効果的に授業改善に結びつけるための意見交換の機会を設けている(根拠資料2-4教養、2-5教養)。</p> <p>・教養部では、部内組織である教養教育研究会が毎年度発行する『愛知学院大学教養部紀要』の各巻最終号末尾に、教養部の全専任教員について、前年1年分の研究業績一覧を掲載している。なお、当該紀要は2011年度版の第58巻より、教養部のホームページにて全文閲覧可能である(根拠資料2-6教養)。</p> <p>・教養部では、部で定めたアドミッション・プランとカリキュラム・ポリシーの達成状況を毎年度評価するために、学部・学科と科目の両レベルにおいてアセスメント・プラン(根拠資料2-7教養)およびアセスメント・チェックリスト(根拠資料2-8教養)を設定している。</p> <p>・以上の各点に関する点検結果を踏まえ、総合的な視点から部全体の問題点を把握し、その改善に向けた部としての取り組みを立案するための内部質保証体制として、教養部自己点検・自己評価委員会を設置している(根拠資料2-9教養)。</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2-1教養	教養部カリキュラム・マップ(文学部履修要項抜粋)			
2-2教養	2020シラバスチェック確認			
2-3教養	平成31年度4月教養部会議事要項+資料10			
2-4教養	平成30年度全学FD活動報告書			
2-5教養	令和元年9月20日教養部FD研究会開催案内			
2-6教養	教養部紀要			
2-7教養	平成30年度第10回教務委員会資料6			
2-8教養	平成31年度第1回教務委員会資料3			
2-9教養	教養部自己点検・自己評価委員会議事録			

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特になし場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)教養部には該当せず。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)教養部には該当せず。</p> <p>(2)教養部には該当せず。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 教養部には該当せず。 (2) 教室ごとに、教養部のカリキュラムポリシーに基づいて授業科目を位置づけている。 (3) 個々の教員が教養部のカリキュラムポリシーに基づいて授業内容を設定している。 (4) 文学部・心身科学部心理学科・商学部・経営学部・経済学部・法学部の1年次に「教養セミナーI・II」を開講し、授業担当者がアドバイザーとして指導を行っている。上記学部・学科に加えて歯学部と薬学部の1年次学生に対しても教養部の教員がアドバイザーとなり、きめ細かい教育を行っている。 (5) 文学部・心身科学部心理学科・商学部・経営学部・経済学部・法学部の1年次に「教養セミナーI・II」を開講し、授業担当者がアドバイザーとして社会的自立を図る指導を行っている。上記学部・学科に加えて歯学部と薬学部の1年次学生に対しても教養部の教員がアドバイザーとなり、きめ細かい教育を行っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-1教養	「教養部のポリシー」ウェブサイト			
4-2教養	「教育情報の公表」ウェブサイト			
4-3教養	アドバイザー制度(心身科学部履修要項抜粋)			
4-4教養	「教養セミナーとアドバイザー制度」ウェブサイト			
4-5教養	『教養セミナーハンドブック』第一部大学で学ぶために			
4-6教養	『教養セミナーハンドブック』第二部日本語表現法			
※各学部と重複すると考えられる資料(履修要項等の抜粋)は省略した。				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 授業時間外に必要な学習時間と履修登録単位数の上限を履修要項に明記するとともに、入学時のガイダンスで学部教員・教養部教員・教務課職員が指導している。</p> <p>(2) 専任教員が互いにシラバスチェックを行っている。非常勤講師のシラバスについては、専任教員がチェックしている。また、大学教学改革推進企画室からの要請に応じて、各教員がウェブ上の「研究業績プロ」に自己点検・評価を入力している。加えて、学生による授業アンケートで学生からシラバスと授業内容の整合性についてチェックを受けている。</p> <p>(3) 各教員が学生の授業への主体的参加を促すための工夫をしている。例えば、「教養セミナーI・II」ではアクティブラーニングを取り入れている。また、歯学部・薬学部の学生には必修科目として実習を実施している。</p> <p>(4) 英語、第二外国語、スポーツ科学の授業では、適切な学生数となるようクラス分けを実施している。また、講義科目で多人数クラスが生じた場合には、クラスの分割や開講学科の変更等の対応を取っている。適切な履修の指導については、入学時のガイダンスで、学部教員・教養部教員・教務課職員が実施している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-7教養	「シラバス標準検索」ウェブサイト			
4-8教養	シラバスチェックについてのお願い			
4-9教養	シラバスチェックデータファイルの入力について			
4-10教養	2020シラバスチェック確認			
4-11教養	「研究業績プロ」ウェブサイト			
4-12教養	R1春学期教養部学生による授業アンケート集計表			
4-13教養	R1秋学期教養部学生による授業アンケート集計表			
4-14教養	2019年度英語クラス分け結果(文系)			
4-15教養	2019年度英語クラス分け結果(歯)			
4-16教養	2019年度英語クラス分け結果(薬)			
4-17教養	第二外国語クラス分け結果			
4-18教養	スポーツ科学(必修)受講者数資料			
4-19教養	令和2年度時間割編成上の注意点(R1年9月教養部会資料)			
4-20教養	秋学期の多人数・少人数授業について(R1年10月教養部会資料)			
※各学部と重複すると考えられる資料(履修要項等の抜粋)は省略した。				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 単位制度の趣旨に基づく単位認定方法をシラバスに明記している。また、既修得単位については、教務主任2名が厳格な審査を実施している。</p> <p>(2) 成績の評価基準をシラバスで明記している。学生が評価に疑問を感じた場合には、教務課を通じて「成績評価に関する質問書」を授業担当者へ送る制度がある。</p> <p>(3) 教養部には該当せず。</p> <p>(4) 教養部には該当せず。</p> <p>(5) 教養部には該当せず。</p> <p>(6) 教養部には該当せず。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-7教養	「シラバス標準検索」ウェブサイト			
4-21教養	成績評価に関する質問書フォーマット			
※各学部と重複すると考えられる資料(履修要項等の抜粋)は省略した。				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	B
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 <<学習成果の測定方法例>> ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 教養部には該当せず。 (2) 英語教室が主体となって、文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部心理学科・歯学部・薬学部の1年次を対象に「愛知学院大学英語力評価テスト(AGUTEA)」を学年初めおよび学年末に実施し、英語授業の学習成果を測定している。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-22教養	AGUTEA実施報告書			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 春学期・秋学期に「授業アンケート」を実施している。必修の英語授業については、英語教室の教員(専任・非常勤ともに)が「愛知学院大学英語力評価テスト(AGUTEA)」の分析結果を共有し、授業に反映させている。また、2019年度より教養部自己点検・自己評価委員会において、点検・評価している。 (2) 「授業アンケート」の結果を受けて各教員が「今後の取組(改善策)」を入力している。また、拡大FD委員会やFD研究会を通して、組織的な改善・向上に向けた取り組みを実施している。例えば、2019年度は「学生の興味・関心から学問への展開」をテーマとした研究授業を開催し、同日、同じテーマで研究会を実施した。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-22教養	AGUTEA実施報告書			
4-23教養	H30年度教養部FD活動報告書(平成30年度全額FD活動報告書抜粋)			
4-12教養	R1春学期教養部学生による授業アンケート集計表			
4-13教養	R1秋学期教養部学生による授業アンケート集計表			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
⑤(1), (2)	既修得単位を認定するために教務主任2名が厳格な審査を実施している。成績の評価基準をシラバスで明記し、学生が評価に疑問を感じた場合には、教務課を通じて「成績評価に関する質問書」を授業担当者へ送る制度がある。
⑦(1), (2)	教育内容や方法の適切性や問題点を共有するために拡大FD委員会やFD研究会を実施し学生への指導に還元できている。英語授業の学習成果を測定するために英語教室の教員(専任・非常勤ともに)が「愛知学院大学英語力評価テスト(AGUTEA)」の分析結果を共有し、授業に反映させている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
4-22教養	AGUTEA実施報告書
4-23教養	H30年度教養部FD活動報告書(平成30年度全額FD活動報告書抜粋)

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編制・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 教養部は独自に学生を受け入れ学位を授与することはないが、教養教育を通して社会に輩出したい人物像と、そのために必要な教育課程の編制方針を、固有のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーとして定め、それを踏まえて、教養部としてのアドミッション・ポリシーを独自に設定し、他の二つのポリシーとともに、教養部ホームページにて公表している(根拠資料5-1教養)。</p> <p>(2) 教養部のアドミッション・ポリシーに、建学の精神を踏まえた社会貢献への意欲、および幅広い知的的好奇心と探求心、この二つを学生に求めると明記されている(根拠資料5-1教養)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-1教養	教養部のポリシー			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>※以下すべての項目について、教養部は独自に学生を受け入れることではないので直接には該当しない。ただし、教養部長および教務主任が入試委員として入試委員会に参加する中で、また、多数の専任教員が各種入学試験問題の作成と採点に携わる中で、教養部アドミッション・ポリシーに基づく公正な入学者選抜の実施に寄与している。</p> <p>(2)</p>				

(3)
(4)
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)				
(2)				
〔根拠資料名〕上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2018年9月教養部会において、教員組織の編制に関する方針案と、それに基づいた現状分析が報告され、承認された(資料6-1, 6-2)。また、2019年度に、愛知学院大学の教員組織の編制方針を前提とした教養部独自の教員組織の編制方針を策定した。(資料6-3)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-1教養	平成30年度9月教養部会資料			
6-2教養	平成30年度9月教養部会議事要項			
6-3教養	教養部 教員組織の編制方針			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	B
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	B
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	S
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2019年度4月現在の専任教員数は63名(客員教授を除く)である。平成30年度春学期に開講された教養教育科目898コマに対して、専任教員が担当したのは428コマであり専任率は47.7%であった。これは「平成25年度点検・評価報告書」p.112で指摘された、「専任率が低い状態」から改善していない。また教授の割合は30%である。(資料6-4)</p> <p>(2) 2019年度は2名の客員教授(英語・化学)、1名の准教授(中国語)が退職した。これに対し、退職者の補充のための募集は2件(英語・化学)のみで、中国語教員の募集は行われなかった。(資料6-5)</p>				

(3) 第二外国語・人文社会系教室を中心に、定年退職者の補充人事が行われないケースが多くなっており、専任教員が1名しかいない分野が増えてきている。メインキャンパスが二つとなった現状と相まって、専任教員の負担は大きくなっている。国際性に関しては、英語圏6名、中国1名、韓国1名の外国人教員がおり、語学教育と国際理解に関する授業に携わっている。女性教員の割合は約13%と全国平均より少ないため、改善の余地がある。2019年4月1日時点での年齢構成は60代18名、50代17名、40代17名、2-30代11名となっており、各世代に亘ってバランスよく配置されている。(資料6-6)

(4) 本学では教養教育を専門に扱う教養部を設置している。教養部は初年次教育・幅広い教養教育の充実をはかるため、「教養セミナーⅠ・Ⅱ」をはじめ、人文系・社会系・自然計・外国語系・健康総合科学系の5系列および主題系科目を設定している。(資料6-6)

その運営にあたっては教養部長を責任者とし、2名の教務主任が実務面での取りまとめを行い、3名の事務職員がそれをサポートする体制である。教務・FDに関しては教養部会で選出された教養部教務委員長・FD委員長を筆頭に、各教室の教務委員・FD委員から成る教養部教務委員会・FD委員会において議論を行い、最終的に教養部会の承認を得ることで、広い分野にまたがる教養教育が適切に行われるよう管理している。(資料6-7)

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-4教養	2019年度教養部会専任教員一覧(2019年度4月教養部会資料)
6-5教養	2019年度教養部教授会議事項
6-6教養	愛知学院大学教養部ホームページ
6-7教養	2019年度教養部各種委員会委員一覧(2019年度4月教養部会資料)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 「教養部教員の新規採用に関する内規」と「教養部教員の昇任に関する内規」を設定している(資料6-8, 6-9)。新規採用にあたっては教養部長によって募集が行われ、教養部長が依頼した適切な委員によって選考が行われる。これによって選ばれた候補者は、教養部総務委員会の承認を得た後、教養部教授会において審査される。昇任にあたっては、各教室・系列の総務委員または教養部長によって出された提案を、教養部総務委員会の承認を得た後、教養部教授会において審査する。

(2) 前述の内規を厳格に適用した人事を行っている。2019年度は昇任人事4件(教授2件、准教授2件)と採用人事2件(准教授1件、専任講師1件)の人事を行った(資料6-5)

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-8教養	教養部教員の新規採用に関する内規
6-9教養	教養部教員の昇任に関する内規

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2019年度はまず春学期授業アンケート結果をもとに教養部拡大FD委員会を開催し、情報共有をはかると共に、授業改善を図るための議論が行われた。秋学期は、授業の一つを研究授業として他の教員に公開し、授業後に意見交換会を行った(資料6-10)。また教養部全教員が対象の拡大FD委員会を2回行った(資料6-10)。研究活動については、教養部教員を正会員とした教養教育研究会を組織し、「愛知学院大学論叢教養部紀要」の刊行(原則年3回)、研究会等の開催を通じて研究情報の共有と相互理解を促進し、活性化を図っている(資料6-11)。社会貢献については、各種講演会の学外開放、講師派遣、開放講座の開講の3つを中心に据え、教員の資質向上を図っている。</p> <p>(2) 教養部教授会において教育活動・研究活動の評価と審査を行い、2年ごとに1名を国内研修に、毎年1名を在外研究に派遣して、研究活動への強い動機付けを行っている。また昇任人事においては、教育・研究・社会の3つの活動の全てを評価の対象としている。(資料6-5)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-10教養	2019年度全学FD活動報告書			
6-11教養	愛知学院大学教養部紀要巻号リスト(愛知学院大学学術紀要データベース)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 毎学期当初に科目ごとの受講者数の分析を行い、各科目に適切に教員が配置されているかを教養部会において点検・評価している(資料6-12)。また各教室・系列もしくは教養部長からの提案があった場合にも、教養部総務委員会の承認を得た後、教養部教授会において点検・評価を行っている。(資料6-5)</p> <p>(2) 教養部教授会における点検・評価結果をもとに、補充人事や配置換え等の対応を取っている。(資料6-5)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-12教養	2019年度春学期選択科目受講者数等(2019年度5月教養部会資料)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
②(4)	全学の教養教育を学部横断的に担当する独立した組織として教養部を持ち、大学全体における教養教育の質を高いレベルで維持している(資料6-5)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 本学国際交流センターと連携して海外語学研修の引率者などを担当している。</p> <p>(2) 本学主催の公開講座、開放講座、オープンカレッジ、教員免許状更新講習などの講座・講習に協力して講師を担当している。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-1教養	愛知学院大学国際交流センターホームページ			
9-2教養	愛知学院大学ホームページ(講座・セミナー)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 海外語学研修参加者や本学主催の公開講座、開放講座、オープンカレッジ、教員免許状更新講習などの講座・講習参加者にアンケートを取り、点検・評価を行っている。</p> <p>(2) 海外語学研修参加者や本学主催の公開講座、開放講座、オープンカレッジ、教員免許状更新講習などの講座・講習参加者へのアンケート結果や、海外語学研修引率者の報告等を、社会連携・社会貢献活動の内容の改善に役立てている。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-3教養	所轄(国際交流センター)資料参照			
9-4教養	所轄(エクステンションセンター・教務課)資料参照			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
③	個人による優れた取り組み・貢献が組織側で十分に把握されておらず、また、その正当な評価がされていない。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
③	WebCampus上の研究業績プロ情報の活用。 FD委員会などでの総合的議論の活性化。
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B